

企業の社会貢献活動等に関する調査 設問票

千葉県 県民生活課

概要

千葉県内の企業の社会貢献活動等の実態調査に御協力をお願いします。

令和6年4月1日時点の状況についてお答えください。

回答方法はちば電子申請サービスとなります。

●以下の URL または QR コードより御回答ください。

(URL : https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=37847)



＊基本的に選択式となっており、所要時間はおおよそ5分です。

お手数ですが、回答に御協力いただけますと幸いです。

なお、回答に迷われましたら、現状に最も近いと思う選択肢をお選びください。

〔区分〕

設問1 該当する区分を選択してください。

- | | | |
|-------------------|--------------|----------------------|
| 1. 株式会社・有限会社・合同会社 | 2. 組合 | 3. 財団・社団・医療法人・社会福祉法人 |
| 4. 教育機関・学校法人 | 5. 特定非営利活動法人 | 6. 個人事業主 |
| 7. 任意団体 | 8. その他（ ） | |

〔従業員数〕

設問2 該当する従業員数を選択してください。

- | | | |
|-----------|-----------------|-----------|
| 1. 100人未満 | 2. 100人以上500人未満 | 3. 500人以上 |
|-----------|-----------------|-----------|

〔業種〕

設問3 該当する業種について、あてはまる番号1つを選択してください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 農業、林業 | 2. 漁業 |
| 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 4. 建設業 |
| 5. 製造業 | 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 7. 情報通信業 | 8. 運輸業、郵便業 |
| 9. 卸売業、小売業 | 10. 金融業、保険業 |
| 11. 不動産業、物品賃貸業 | 12. 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 13. 宿泊業、飲食サービス業 | 14. 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 15. 教育、学習支援業 | 16. 医療、福祉 |
| 17. 複合サービス事業 | 18. サービス業（他に分類されないもの） |
| 19. 公務（他に分類されるものを除く） | 20. 分類不能の産業 |

〔社会貢献活動の実施状況〕

設問4 以下の社会貢献活動を実施していますか。あてはまる番号すべてを選択してください。

- | | |
|--|----------------------------------|
| 1. 企業としてのボランティア活動への参加 | |
| 2. 従業員の自発的なボランティア活動の支援 | |
| →具体的には： | |
| （1 ボランティア休暇 2 ボランティア活動への呼びかけ 3 ボランティアを含む副業の推奨 4 その他） | |
| 3. 金銭的な支援 | 4. 物資の提供・貸与 |
| 5. 施設・場所の提供 | 6. 技術的な支援・アドバイス・プロボノ（※）としての従業員派遣 |
| 7. イベントの開催・後援など | 8. その他（ ） |
| 9. 特に実施していない | |

※プロボノ・・・職業上のスキルや専門知識を活かして行うボランティア活動

〔ボランティア活動の分野〕

設問5 設問4で、「1. 企業としてのボランティア活動への参加」を選択した方に伺います。活動しているボランティア活動の分野は、どのようなものですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 社会福祉 | 2. 健康・医学、スポーツ |
| 3. 学術・研究 | 4. 教育・社会教育 |
| 5. 文化・芸術 | 6. 環境 |
| 7. 地域社会の活動、史跡・伝統文化保全 | 8. 国際交流 |
| 9. 災害被災地支援 | 10. 防災まちづくり・防犯 |
| 11. 人権 | 12. 市民活動団体の基盤強化 |
| 13. 雇用創出及び技能開発、就労支援 | 14. その他（ ） |

〔社会貢献活動実施の理由〕

設問6 設問4で「9. 特に実施していない」以外を選択した方に伺います。社会貢献活動を実施している理由は、どのようなものですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 企業として、さらに地域社会に貢献したいため
2. 経営者の考え方や企業理念に合致するため
3. 企業には社会的責任（CSR）があると考えているため
4. ESG投資の広まりなどから、経営をより円滑に行うために必要であると考えているため
5. 企業イメージの向上のため
6. 株主や業界団体等の関係者から要請があったため
7. 従業員の活躍の場の創出や従業員の人材確保に寄与すると考えているため
8. その他（ ）

〔社会貢献活動を実施していない理由〕

設問7 設問4で、「9. 特に実施していない」を選択した方に伺います。社会貢献活動を実施していない理由は、どのようなものですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 予算の確保が難しいため
2. 人的な余裕がないため
3. 時間的な余裕がないため
4. 活動のノウハウや情報が不足しているため
5. 活動実施にあたり、社内の理解を得るのが難しいため
6. 活動を行う意義が薄いと感じるため
7. その他（ ）

〔企業の社会貢献活動の推進に資する取組〕

設問8 企業の社会貢献活動を推進するために、どのようなものが役立つと思われますか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 企業の社会貢献活動の意義やメリットに関する情報
（例：社会福祉法人等に寄付をする場合の税制上の優遇措置）
2. 企業における社会貢献活動の事例やノウハウ等に関する情報
3. ボランティアを募集したい団体・企業とボランティア活動に参加したい方をつなぐ仕組み
4. 企業の社会貢献活動事例情報
5. その他（ ）

〔災害時の社会貢献活動〕

設問 9 災害時の社会貢献活動に取り組んだことがありますか。その内容について、あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 現場で被災者支援活動を行った。(社員の派遣等)
2. 行政・ボランティアセンター・市民活動団体等に対して寄附を行った。
3. 行政・ボランティアセンター・市民活動団体等に対して物資の提供・貸与を行った。
4. 業界団体やライオンズクラブ、ロータリークラブ等を通じて寄附を行った。
5. 業界団体やライオンズクラブ、ロータリークラブ等を通じて物資の提供・貸与を行った。
6. その他()
7. 特に実施したことはない。

〔災害による意識変化〕

設問 10 東日本大震災、令和元年房総半島台風、令和6年能登半島地震など、大規模な災害をきっかけに、社会貢献活動に関する意識に変化がありましたか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. 大きく上昇した
2. やや上昇した
3. 特に変化はない
4. やや低下した
5. 大きく低下した

〔新型コロナウイルス感染症による意識変化〕

設問 11 新型コロナウイルス感染症の影響により、社会貢献活動の行動に変化がありましたか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. 大きく上昇した
2. やや上昇した
3. 特に変化はない
4. やや低下した
5. 大きく低下した

〔SDGsによる社会貢献活動の意識・行動変化〕

設問 12 SDGsの広まりにより、社会貢献活動の意識・行動に変化がありましたか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. SDGsの影響により、社会貢献活動をより積極的に実施するようになった。
2. 行動に変化はないが、社会貢献活動の意識が高まっている。
3. 特に変化はない。

〔SDGsに関連した取組の分野〕

設問13 SDGsに関連して貴団体が取り組んでいる分野について、あてはまる番号すべてを選択してください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 4. 質の高い教育をみんなに |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 8. 働きがいも 経済成長も |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任 つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 15. 陸の豊かさを守ろう | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 17. パートナリーシップで目標を達成しよう | 18. SDGsに関連した取組は行っていない |

〔連携・協働の意向〕

設問14 社会貢献を行うにあたり、自団体だけで取り組むのではなく、他の企業や行政、地域の学校、市民活動団体などと協力しあい、各主体の得意分野を生かして連携して取り組む「連携・協働」(※)について、お考えをお教えてください。あてはまる番号すべてを選択してください。

- | |
|---|
| 1. 社会貢献活動に取り組むにあたり、連携・協働をして実施することは有意義だと思う。 |
| 2. 取り組む社会貢献活動の内容により、自団体のみで活動するか、他主体と連携・協働するか検討したい。 |
| 3. 社会貢献活動に取り組むにあたり、連携・協働するよりも自団体内のみで取り組む方が効果が高いと思う。 |
| 4. 意義や効果に関わらず、社会貢献活動に取り組むにあたり、連携・協働はしたいと思わない。 |

※ここでいう「連携・協働」とは、「対等な二者以上の主体が共通の目的を持ち、それぞれの目的を共有、お互いの特性を生かしながら協力すること」とします。

〔連携・協働の経験〕

設問15 他の企業や行政、地域の学校、市民活動団体など、他の主体と連携・協働して社会貢献活動を行ったり、取組に参加・協力したことはありますか。

- | | |
|-----------------------------|--------|
| 1. はい ⇒それはどのような取組ですか。(自由記述) | 2. いいえ |
|-----------------------------|--------|

〔連携・協働の相手〕

設問 16 設問 15 で「1. はい」とお答えした企業に伺います。連携・協働したのは、どのような主体ですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 県行政 | 2. 市町村行政 |
| 3. 他の企業 | 4. NPO・ボランティア団体 |
| 5. 地縁組織（町内会等） | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 学校・教育機関 | 8. 財団法人・社団法人 |
| 9. 商工会議所等の経済団体 | 10. 社会福祉法人 |
| 11. 士業・フリーランス・個人 | 12. 県民（地域住民） |
| 13. その他（ ） | |

〔連携・協働のメリット〕

設問 17 設問 15 で「1. はい」とお答えした企業に伺います。連携・協働したことでどのようなメリットがありましたか。あてはまる番号すべてを選択してください。

- | |
|---|
| 1. 自団体だけでは出来ない事業や成果を生み出す事ができた |
| 2. 協働相手のノウハウの活用や広報協力など、お互いの持つ資源を出し合うことで、事業成果が向上した |
| 3. 自団体の認知度の向上やネットワークの拡大ができた |
| 4. これまで気づかなかった事業ニーズを発見できた |
| 5. 連携・協働した案件とは別に新たな事業化につながった |
| 6. 自団体の事業運営能力が向上した |
| 7. 特にメリットを感じなかった |
| 8. その他（ ） |

〔連携・協働の課題〕

設問 18 他の主体と連携・協働した社会貢献活動を行う場合、課題に感じることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてを選択してください。（社会貢献活動を行う予定がない場合は、もし行うとしたらという観点でご回答ください。）

- | |
|--|
| 1. 連携・協働相手の情報が不足している。 |
| 2. NPO や学校等と連携できる関係性が構築されていない。 |
| 3. 連携・協働を仲立ちする人がいない。 |
| 4. 連携するために必要な自社内の体制整備や、連携するプロジェクトのプロセス管理、役割分担等、連携・協働の取組の進め方がわからない。 |
| 5. 他の主体が持っている連携・協働できる取組や資源をよく知らない。 |
| 6. 経済的・人的余裕がない。 |
| 7. 自団体のみで活動を行うよりも煩雑になる。 |
| 8. その他（ ） |

〔市民活動団体の情報取得手段〕

設問 19 市民活動団体の情報をどのように得ていますか。(社会貢献活動の情報収集やボランティアへの参加、協働相手の情報収集) あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
2. 書籍
3. 研修・セミナー・イベント等
4. 営業先・顧客
5. 住所地の回覧板
6. 表彰事例・助成金採択情報
7. 友人・知人
8. 中間支援組織が発信する情報（SNS含む）
9. 市民活動団体が発信する情報（SNS含む）
10. 内閣府HP（NPO 法人ポータルサイト）
11. 自治体・市民活動支援センターが発信する情報（SNS含む）
12. 市民活動団体の情報を得たことはない
13. その他（ ）